

令和7年度一般会計補正予算(第1号)

定額減税補正給付金支給事業

問 支給事務の委託料として599万3千円が計上されているが、具体的な業務は。

答 給付支給の確認書等の印刷や、その印刷物の封入封かん業務、その他データ入力業務や、問い合わせ等への電話対応、確認書等の受付事務を行う。

担い手支援事業

問 経営発展支援事業の件数が33件となっているが、この内訳は。

答 親元就農者が32件、新規参入者が1件である。

問 親元就農が増えた要因は。

答 これまでは親元で農業を始めてから5年以内の方を補助対象としていたが、この規定が大きく見直され、農業を始めて5年経過した方も新たに対象に加えたことが、多くなった理由であると考ええる。

問 この事業でどのような効果が見込まれるのか。

答 次の世代に託す選択の後押しとなるほか、将来にわたり担い手の確保ができ、継続的な営農につながるものと考ええる。

農業経営支援事業

問 国の補助事業は成果目標を求められるが、こういったことが目標になっているのか。

答 農作業代行サービスを提供する農地面積を拡大することが目標となっている。

共育推進事業

問 指導者謝礼金の積算根拠は。

答 土曜日または日曜日の実働3時間程度の活動に対して1回4千円を支払う。これは指導者104名、7カ月分を積算根拠とした。また、部活動の地域展開をしている他市の謝礼を参考にして積算をした。

問 支給の方法は。

答 地域クラブからの活動実績報告書により、個人に支給されることになる。

問 子どもの居場所づくりの団体や障害者支援団体等が運動や文化活動

答 申請書の内容を確認し、認定要件を満たしていれば地域クラブとして認定されることとなる。

問 ボランティア活動等も地域クラブとして認定できるのか。

答 認定要件を満たしていれば、ボランティア活動や自然体験活動についても認定していく。

スポーツ大会支援事業

問 WSL QS6000(※)の支援として予算に計上されている負担金2500万円の金額の根拠は。

答 総額6千万円の内、賞金の1千万円を除いた2分の1の金額である。

問 競技運営費が主な事業費に当たるとのことだが、その中で具体的に大きな支出は。

答 競技会場の設営費、通信環境設備費等である。また、海外からジャッジやライブ配信に関するスタッフを招くことから、その旅費、宿泊費、交通費などの経費が大きなものとなった。

問 この予算措置を伴う大規模な大会を行う必要性は。

答 愛知・名古屋アジア大会組織委員会が、2026アジア競技大会サーフィン競技に向けて輸送や物流に対するテストも実施する形になっている。本市としても、本大会の支援を実施することで、来年のアジア競技大会のサーフィン競技の開催、さらにはその成功につなげていきたいと考えている。

(6/20 予算決算委員会)

※WSL QS6000
世界プロサーフィン連盟(WSL)が実施する世界最高峰のプロツアーCT(チャンピオンシップツアー)の予選リーグにあたる。世界中からトップサーファーが集結する日本最大級の国際大会。

■陳情を審査しました

▽最低賃金の全国一律化と大幅引き上げ、中小企業支援の拡充と公正取引を求める意見書の提出を求める陳情 他6件

文教厚生委員会および総務産業委員会にて陳情をそれぞれ審査した結果、全て不採択となりました。

※陳情結果はホームページでもご覧いただけます。

